

木津川市行財政改革推進委員会 会議経過要旨

会 議 名	令和 7 年度第 1 回 木津川市行財政改革推進委員会		
日 時	令和 7 年 8 月 7 日（木） 午後 2 時～午後 3 時 5 5 分	場 所	木津川市役所本庁舎 5 階 全員協議会室（公開）
出 席 者	委 員 （出席：■） （欠席：□）	■新川委員（会長） ■壬生委員（副会長） ■原田委員 ■藤本委員 ■山岡委員 ■山口委員 ■木村委員 ■園田委員 ■高橋委員	
	その他出席者	（傍聴者） 2 名	
	庶 務	（事務局：企画戦略部デジタル推進課デジタル行革係） 茅早企画戦略部長、中谷デジタル推進課長、宮本係長、 下吹越主任	
議 題	1. 開 会 2. 議 事 （1）第 4 次木津川市行財政改革行動計画進捗状況について （2）令和 7 年度外部評価について 3. そ の 他 （1）木津川市公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画（第 1 期） の進捗状況について（報告） 4. 閉 会		
会議結果要旨	・ 第 4 次木津川市行財政改革行動計画の進捗状況及び市の評価について報告を受けた。なお、計画目標である財政指標については、令和 6 年度決算が確定次第、再度報告を行うこととなった。 ・ 令和 7 年度外部評価実施要領（案）について、原案のとおり決定した。 ・ 令和 7 年度外部評価対象項目の選定を行い、次の項目で実施することを決定した。 ○実現戦略 10 職員の成長と活躍を支える組織体制の構築と人員配置の最適化 ○実現戦略 11 部局横断による課題解決力と対応力の強化 ○実現戦略 33 ガイドラインの策定による適正かつ効果的な補助制度への転換 ○実現戦略 36 公共事業・大規模事業の平準化		
会議経過要旨	<div>令和 7 年 4 月 1 日付け組織改編と事務局紹介</div> <div>◎開会に先立ち、事務局より令和 7 年 4 月 1 日付けで新たに「こども未来部」や「企画戦略部デジタル推進課」が新設されたことなど、組織改編に関する説明と、新たな事務局の紹介を受けた。</div> <div>1. 開 会</div> <div>◎園田委員を、本日の会議記録署名委員に指名した。</div> <div>2. 議 事</div>		

◎：議事・進行
○：質問・意見
⇒：説明・回答

(1) 第4次木津川市行財政改革行動計画進捗状況について

資料1-1 第4次木津川市行財政改革行動計画進捗状況報告（令和6年度末）

資料1-2 第4次木津川市行財政改革行動計画 実現戦略 取組概要等一覧（令和6年度末）

資料1-3 第4次木津川市行財政改革行動計画 実現戦略 取組評価シート

◎事務局から、第4次木津川市行財政改革行動計画の令和6年度末時点における進捗状況及び市の総合評価について報告を受けた。

意見・質疑応答など【◎：会長発言、○：委員発言、⇒：事務局発言】

○資料1-1の3ページ、実現戦略8「女性活躍・多様な人材（人財）・多様な働き方の推進」における障害者法定雇用率の目標が2.6%、実績が2.81%となっているが、令和6年4月から法定雇用率が国や地方公共団体では2.8%に引き上げられている中で、この目標値は納得がいけない。

資料1-3の8ページにおける同数値は2.8%とされていることから、資料1-1の数値は誤記載ということで良いか。

⇒ご指摘のとおり、資料1-1の当該部分における数値は誤りであり、2.8%が正となります。

また、資料1-1の4ページ、実現戦略20「ファシリティマネジメント推進体制整備による取組みの加速」における公共建築物の保有量（延床面積）削減率の実績値についても、1.9%は誤りであり、正しくは1.7%となります。お詫びして訂正いたします。

○実現戦略17「自治体DXに向けた職員の意識改革と行動の変容」について、研修会の開催や内部監査の実施を計画されていたのに達成されていないとされているが、計画されたからといって何回も同様の研修等を行ってもあまり効果は望めないの方向性を変えるべきであり、達成・未達成という話ではないのではないかと思います。

現在、生成AIが私たちの仕事のあり方を変えようとしている。デジタルは一般に敷居が高い面があるが、生成AIはデジタルに疎い方でも習得しやすく、チャレンジしやすい環境を作ってくれる。他自治体で講演させていただく機会があるが、生成AIへの関心はかなり高いものがある。本市の職員においても人手不足への対策として自分たちの仕事を置き換えるといった意識を持って活用を検討しなければならない。

デジタル庁が「ガバメントAI」導入を公表している。詳細はまだ決まっていないようだが、おそらくLGWAN環境の自治体でも活用できることになると思われる。こうした取組の進捗を見ながら生成AIについて職員が活用できる環境整備とその習得のための研修会の開催等について検討いただき、遅くとも来年度までには取り組んでみられてはいかがか。

⇒ご指摘いただいた生成AIについては、デジタル推進課に対して庁内から活用に関する問い合わせがある一方で、セキュリティとの兼ね合いからどこまで活用が可能なのか悩みを持っているところです。また、ご教授いただきましたガバメントAIはフォローアップできていないため、関連情報

	<p>を入手して、庁内で何らかの方向性を決定したり、生成ＡＩに関する研修を検討していきたいと考えています。</p> <p>◎生成ＡＩを使うのが当たり前になりつつある一方で、生成ＡＩそのものの様々な問題点や弱点、ネットワーク上の脆弱性、情報収集の偏りや大きなバイアスがかかっているという議論もある。行政として本当に使えるところを見定めて、活用していただきたい。</p> <p>○資料１－１の４ページ、実現戦略 21「保有資産の可視化」について、固定資産台帳や施設カルテの導入が機能していないことは、建設担当課からの引継ぎが出来ていなかったからではないのかと事前質問したところ、固定資産台帳については整備している、施設カルテは各施設所管課が担ってきた維持管理を包括管理業務に移行することで、統一的な情報が集約されることから先んじて包括管理業務に取り組んでいくとの回答であった。包括管理業務の所管課はどこになるのか説明をお願いしたい。</p> <p>⇒包括管理業務について、現在は業者選定の公募型プロポーザルを進めている段階であり、デジタル推進課が担当となっています。なお、包括管理業務を本格的に導入する際は、施設に関する見識や、建築技師の観点が必要と考えることから、改めて担当部署の検討を行う予定となっています。</p> <p>○固定資産台帳と包括管理業務のどちらもデジタル推進課が担当となるのか。</p> <p>⇒固定資産台帳については財政課管財係が担当であり、包括管理業務はデジタル推進課が担当となります。</p> <p>○資料１－１の３ページ、実現戦略 23「近隣団体との連携による共同運営・相互利用等の推進」において、奈良市北部図書館の利用促進について記述がある。市所有の図書館と異なり、奈良市北部図書館は利用実態に応じた支払いが必要であり、利用が増えることは良いことだと思う反面、必要な方が必要な分だけ借りるとしてブレーキを掛けることも必要だと感じているが、事務局の考えは。</p> <p>⇒利用者からは好評いただいていると認識しており、更なる利用者の増加につなげていきたいと考えています。</p> <p>○貸出冊数が増えていっても問題ないということか。うろ覚えで申し訳ないが、１冊当たり 100 円のコストが掛かっているという認識であり、想定する予算を超えても問題ないということか。</p> <p>⇒以前には、高の原地域に図書館がないことが課題としてあり、こうした中で奈良市と包括連携協定を締結することにより奈良市北部図書館を活用させていただき、従前の課題を解決したという前提条件があります。奈良市に支払う使用料については、北部図書館に関する人件費や設備の整備費といったランニングコストを試算し、そこから案分した額を本市が負担することとなっているところです。当然のことながら利用者や貸出冊数が増えれば本市の負担も増加しますが、図書館には市民の皆様の図書文化に対する生涯学習、或いは児童・生徒の学力の向上等を担う役目もあるため、予算が不足する場合は補正対応を行うなど、利用に必要な経費を計上する</p>
--	--

	<p>ことにより市民サービスの向上に努めたいと考えています。</p> <p>○本市所有の図書館は、時間に関わらず駐車料金が無料であることに対し、奈良市北部図書館は1時間以内のみ無料と取扱いが異なっている。</p> <p>実際に体験すると、こうした違いに疑問を感じるため、今後修正を図っていただければ利用者として大変ありがたい。</p> <p>⇒これからの人口減少問題を解決するためには、公共施設に係るイニシャルコスト、ランニングコストを鑑み、各自治体がそれぞれ施設を所有するよりも連携して活用することにより、限られた予算の中で市民サービスの維持・向上を図っていくことが必要であると考えています。</p> <p>なお、駐車料金の件については、奈良市に伝えさせていただきます。</p> <p>○図書館の共同利用の他に、進めていこうと考える連携はあるのか。また、事例研究の進捗状況はどうか。</p> <p>⇒現在、具体的に進めているのは防災の広域連携であり、奈良市が高の原地域において災害時の給油施設を建設したことから、隣接する本市においても災害時に利用させていただくことができないかとして、検討を始めたところです。</p> <p>また、毎年、首長同士の会議において更なる広域連携に関する意見交換を行っているところです。</p> <p>○奈良市と本市の共同で費用を出し合い、はしご車を購入し、奈良北消防署に配備しているが、本市の木津西出張所が廃止になると、現場に到着するのに時間がかかるし、はしご車が無駄になる恐れがあるのではないのか。</p> <p>⇒木津西出張所の件については、相楽中部消防組合消防本部の管轄になるため、市からお答えすることはできませんが、当然に消防・救急活動における到着時間の定め等を考慮し検討を進めた結果、廃止する判断に至ったと認識しています。</p> <p>○時間的には無理があるため、今の説明はおかしいということを申し上げておく。</p> <p>○実現戦略8「女性活躍・多様な人材（人財）・多様な働き方の推進」において、男性の育児休業取得率の目標として30%としているが、前年度実績の60%に対して目標が低すぎるのではないのか。</p> <p>⇒計画策定時における国の目標値に合わせ、本市も目標値を設定していましたが、実際には実績が大きく上回ることとなり、目標と大きく乖離した状態となったところです。今後計画を見直していく中で、当該目標値の修正を図っていきたいと考えています。</p> <p>○目標を変更される時期はいつか。</p> <p>⇒計画の全般的な見直しの時期については、検討中となります。</p> <p>○女性管理職の割合について、そもそもの職員の男女比率はどの程度か。</p> <p>⇒資料を持ち合わせていないため、確認後報告させていただきます。</p> <p>○男性の育児休業取得率 30%、女性の管理職割合 30%として目標数値が設定されているが、国の目標を意識して設定したということで良いか。</p> <p>⇒ご意見のとおり、国の目標に合わせて市の目標値を設定したところです。</p>
--	--

◎令和５年度からの計画であるため、時間と共に設定内容を変化せざるを得ない部分もあると思う。この部分をどういった見直し方針或いは的確な目標に置き換えていくのか、事務局で検討をお願いする。

その他、生成ＡＩの活用や包括管理業務等についての質問等があったが、確実に進めるよう尽力いただきたい。

また、広域行政についてもいくつか指摘があった。今後の広域行政のあり方として、市民サービスの質を維持しつつ、効果的かつ効率的に進めていく必要があることから、関係する広域的な連携をしっかりと取り組んでいただきたい。

(２) 令和７年度外部評価について

資料２－１ 令和７年度外部評価実施要領（案）について

資料２－２ 令和７年度「第４次行財政改革行動計画」外部評価シート

当日資料① 令和７年度外部評価推薦項目に係る事前調査結果

当日資料② 令和７年度外部評価対象項目選定に係る質問・回答

◎事務局から、令和７年度実施要領（案）について説明を受け、実施要領及び外部評価項目の選定について審議を行った。

①実施要領（案）について

意見・質疑応答など【◎：会長発言、○：委員発言、⇒：事務局発言】

○本日の委員会において外部評価対象の４項目を選定するということが良いか。

⇒昨年度は事務局資料が不足していた都合上、後日書面にて選定いただいた経過がありますが、今回は委員の皆様事前に意見聴取を行うとともに、項目に対する質問の回答として当日資料を配布させていただいたところであり、可能な限り本委員会にて４項目を選定いただきたいと考えています。

◎実施要領については例年どおりとし、今年度についても４つの項目についてヒアリングを行い、本委員会で外部評価を行うということで良いか。

【意義等なし】

◎異議がないため、事務局案のとおり決定することとする。

②外部評価項目の選定について

意見・質疑応答など【◎：会長発言、○：委員発言、⇒：事務局発言】

○重点戦略が５つに分かれているため、各戦略ごとに一つの項目を選ぶことにすればバランスがいいのではないか。

◎事務局資料を参考にしつつ、各委員が取り組みたい項目があれば発言願

	<p>いたい。</p> <p>○実現戦略 33「ガイドラインの策定による適正かつ効果的な補助制度への転換」を第一に推していきたい。地方自治法第 2 条第 14 項に「住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」とされているが、補助金は果たしてどうなのか疑問がある。</p> <p>◎新たなガイドラインに基づく補助制度への転換が適切に進んでいるかどうかということについて、外部評価の対象にしてはとの意見をいただいた。その他、委員の皆さんの意見や考えを伺いたい。</p> <p>○実現戦略 21「保有資産の可視化」について、経費削減には、今現在の財産をどのように判定するのかということが大切であり、それを把握していないと削減や維持管理を行うことはできないため、この項目を推薦したい。</p> <p>○実現戦略 36「公共事業・大規模事業の平準化」をお願いしたい。市が発注する工事について、どういった基準に基づいて行われているのか興味がある。また、受注者側の会計を見ている立場からもどのような観点で行われているのか思うところがあり、考え方を知りたい。</p> <p>◎基本事業計画の見直しや計画的な事業執行、起債の平準化及び有利な起債の検討など、管理部分も出てくると思う。昨今は建設単価が高騰しているため難しい部分ではあるが、現場での努力や尽力を確認する必要があると考える。</p> <p>○事前調査でも挙げられていたが、実現戦略 11「部局横断による課題解決力と対応力の強化」について関心がある。部局横断で対応しなければならないこととして、防災は大切だと考えるが、その他にも様々な分野、例えば福祉や介護予防なども含めてどういった取組をしているのか確認していきたい。</p> <p>◎様々な分野で部局横断型の業務継続を行われているが、どのように効果的・効率的に進めているのか、注目したいとの意見をいただいた。</p> <p>○事前調査でも挙げさせていただいたが、実現戦略 11「部局横断による課題解決力と対応力の強化」について、一市民として市の防災や災害対応を頼りにしており、引っ張っていただきたいと考えているため、本項目に興味がある。</p> <p>◎4 つの項目を挙げていただいているが、重点戦略別に分かれているか。</p> <p>⇒重点項目は、実現戦略 1 番から 4 番が「1 パートナーシップの確立」、5 番から 14 番が「2 行政システムの最適化」、15 番から 19 番が「3 スマート自治体への転換」、20 番から 27 番が「4 公共施設の最適化」、28 番から 39 番が「5 持続可能な財政基盤の確立」と分けられています。現在、候補項目として実現戦略 11、21、33、36 の 4 項目を挙げていただいているため、重点戦略 5 について重複している状態となっています。</p> <p>○実現戦略 10「職員の成長と活躍を支える組織体制の構築と人員配置の最</p>
--	--

	<p>適化」について確認したい。市の土台は職員ありきと考えているが、そうした中で会計年度任用職員数が令和6年度から令和7年度にかけて32名増加している要因は何か。一般的に考えれば年々減少していくのが通常ではないのか。定年延長を行い、職員を確保しているのにも関わらず会計年度任用職員数が増加するのは疑問がある。</p> <p>また、当日資料に示されているとおり、令和6年度における女性の定年延長該当者6名に対し、実際に定年延長者は1名に留まるなど、男女に差があると感じている。女性活躍を進めているのにも関わらず、実際には市の方針と異なる結果となっており、委員会で話し合う必要があるのではないかと。</p> <p>⇒情報・資料を持ち合わせていないため詳細な説明はできませんが、会計年度任用職員については、当日資料別紙に記載のとおり、令和7年度に校内サポートルーム支援員として新たに任用を行うなど、様々な理由から特定の分野で増加しているところです。それぞれの理由は、担当部署に確認し整理を行った上で回答させていただきたいと考えています。</p> <p>○民間では多様な働き方の推進を行っているが、本市はそういった働き方改革を行っているのか。多様な人材として、中途採用や氷河期世代の支援枠を新設するなど、ある程度目には見えているが、女性活躍は漠然としているなど、依然足りていない部分があると感じているため、今後議論を行いたい。</p> <p>◎実現戦略8「女性活躍・多様な人材（人財）・多様な働き方の推進」及び実現戦略10「職員の成長と活躍を支える組織体制の構築と人員配置の最適化」についても候補として意見があった。</p> <p>その他意見がなければ、候補に挙げた項目の中で投票により決定したいと考えるがよろしいか。</p> <p>【意義等なし】</p> <p>◎それでは次の6項目を候補として、無記名の投票を行うこととする。なお、事務局において第1希望から第4希望まで希望順位に応じた配点を行っているため、点数の高い順に4項目を選定する。事務局提案のとおりの点数を付けたくない場合は、点数を削除しても良い。点数を削除した場合は各項目を2.5点で計算する。</p> <p>外部評価候補項目（6項目）</p> <p>実現戦略8「女性活躍・多様な人材（人財）・多様な働き方の推進」</p> <p>実現戦略10「職員の成長と活躍を支える組織体制の構築と人員配置の最適化」</p> <p>実現戦略11「部局横断による課題解決力と対応力の強化」</p> <p>実転戦略21「保有資産の可視化」</p> <p>実現戦略33「ガイドラインの策定による適正かつ効果的な補助制度への転換」</p> <p>実転戦略36「公共事業・大規模事業の平準化」</p> <p>用紙に記載された実現戦略番号及び点数を事務局が集計</p> <p>以下、事務局の集計結果（順位・点数）</p>
--	--

	<p>実現戦略 8「女性活躍・多様な人材（人財）・多様な働き方の推進」（6 位・9 点）</p> <p>実現戦略 10「職員の成長と活躍を支える組織体制の構築と人員配置の最適化」（4 位・13 点）</p> <p>実現戦略 11「部局横断による課題解決力と対応力の強化」（1 位・28 点）</p> <p>実転戦略 21「保有資産の可視化」（5 位・10 点）</p> <p>実現戦略 33「ガイドラインの策定による適正かつ効果的な補助制度への転換」（2 位・15 点）</p> <p>実転戦略 36「公共事業・大規模事業の平準化」（2 位・15 点）</p> <p>◎それでは、選定した外部評価対象項目の確認を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実現戦略 10「職員の成長と活躍を支える組織体制の構築と人員配置の最適化」 ・ 実現戦略 11「部局横断による課題解決力と対応力の強化」 ・ 実現戦略 33「ガイドラインの策定による適正かつ効果的な補助制度への転換」 ・ 実転戦略 36「公共事業・大規模事業の平準化」 <p>◎以上の 4 項目でよろしいか。</p> <p>【意義等なし】</p> <p>◎外部評価に選定された項目については、事前に意見や質問をいただき、論点・課題整理を行った上で、ヒアリングを実施する。</p> <p>また、日程について、選定項目の担当課及び委員の予定等を含め、事務局で調整すること。</p> <p>3. そ の 他</p> <p>（1）木津川市公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画（第 1 期）の進捗状況について（報告）</p> <p>◎事務局より、資料の配布をもって進捗状況の説明に代えること、また、計画について質問等があれば個別に事務局へ連絡いただきたい旨の報告があった。</p> <p>（2）第 2 回・第 3 回委員会の日程について</p> <p>◎事務局より、後日日程調整を行う旨の報告があった。</p> <p>（3）実現戦略取組評価シートに係る委員コメントについて</p> <p>◎事務局より、後日改めて各委員に対し委員コメントの確認依頼を行う旨の報告があった。</p> <p>4. 閉 会</p>
その他特記事項	資料 1－1 について、一部内容の修正を行った上で公表することとなった。